



強い南風や北風が梅の花を散らせて、一步一步季節を進めているこの頃です。三寒四温という言葉がぴったりで、着るものの調整には日々戸惑いますね。

早いもので令和5年度が終わろうとしています。

先日のクラス懇談会では、子どもたちと過ごした日々を、写真を見ながら話させていただきました。

保育園で過ごしている時間は、お父さんお母さんには見えづらい子どもたちの時間です。お迎えの時に保育者たちは、なるべくその日のお子さんの様子をエピソードを添えてお話ししようと考えています。それは、子どもたちの時間を共に過ごしている、園の大きな役割だと考えています。

そんな中、今ぶつかっているのが、駐車場の渋滞。この時間帯のお迎えの方と、ゆっくりと話す時間を作るのが難しくなっています。この物質的環境を変えることはできないので、ならば、どうするか考え「ののわっか」の時間を作った次第です。それでもなかなか、保育者と話せていないと感じた時は、どうぞ遠慮なさらず面談の希望等言ってきてください。こちらからも、声掛けさせていただくこともあるかと思えます。

話すことで、保育者と保護者が子どもを真ん中にともに育ちを見守っていきたいです。

さて、今年度1年間を振り返ってみた時に。

のいちご組は、保育者と、「のいちごの部屋」への愛着形成は早く、小さなウッドデッキで水遊びを楽しみ、その中で心を開放して遊んでいました。秋ごろ、やっと公園に行き自分で保育者から離れ、遊び始めて保育者に共感を求めた時に、そこに応えてもらえることで自己肯定感の土台ができたと思います。ここから、少しずつゆっくりと園内の大きい子たちや大人たちに出会って慣れ親しんでいきました。

わかさ組、なでしこ組は、保育者は健康(食・睡眠・排泄など)を根本に置きながら、子どもたちは遊びの中で、自分を出して思いのままにやってみることができました。言葉がまだ拙い中で、物や場所の取り合いが顕著な時期です。そんな一つひとつのエピソードにも登場する子の数だけ思いがあります。そこに居合わせた保育者にしかわかりえないことばかりなので、子どもが言葉で説明できない分、保育者と保護者のコミュニケーションが必要です。子どもの思いに寄って穏やかに居ると、小さいながらも感じ、考えている子どもたちに出会えます。

やまぶき組、かたくり組、はこべ組。保護者会でも、「子どもたちの急激な変化に、おとながついていけなかった」と話す方々が少なくありませんでした。

まず、子どもたちは心も体も開放され、思いに思いにやってみる。その時期は確かに保育者たちも「ここまでやってみれちゃうんだねっ」と驚き笑い話していました。

そこから、少しずつ、「それはあんまりにも危ないでしょ」と大人に言われたり、友だちとしゃべり喧嘩になったり。何して遊ぶかを自分で考えることに戸惑っていたり。そんな時期もありました。そこから、子どもたちは自分の気持ちを人に聞いてもらい、自分以外の人の気持ちも知り、葛藤を繰り返して、自分や周りの仲間の思いに出会っていきました。

子ども時代のこの時期に、感情を表に出せることは、年齢を問わず大切なことです。泣く、大きい声を出す、年齢によっては噛む、ひっかく、たたく。表現方法は様々ですが、そこには、その子の思いが必ずあります。方法はどうであれ、そこに至った気持ちを誰かに受け止めてもらえることは、とても大切なことです。「自分は自分でいいんだ」、そう思える「自己肯定感のある人」に育つ入口だと思います。

そうして育った子たちは、何かにぶつかった時に、人に頼れるし相手の事を一緒に考えられるだろうし、自分がありのままでもいいんだと自信も持てるのではないのでしょうか。

先日、かたくり組はバスに乗りたい！と、麻溝公園に行く計画を立てたものの、早々にその日は冷たい雨の予報。今年度最初で最後の保護者の手作り弁当もお願いしていたことも大きな出来事です。

簡単におとなだけで中止を決めるのは違うなと思い、みんなで話してみることを提案しました。

担任と子どもたちでミーティングです。

「すごく寒い。雨で濡れるともっと寒い」と伝えて「それでも行きたい人！？」と聞いてみると、おおよそ半々。

次の日は、「雨で行ったとして、向こうで何ができるか」調べてみる。そこでまた聞いてみる。「それでも行きたい人！？」あまり変わらず半々。その辺からは、「行くなって決めたら途中で帰りたいとか無しだよ。」「雨でもとことん楽しんじゃおう」と覚悟を決めてもらいます。一方、「行かない」と決めた人たちも、自分たちは園に残って「何やって楽しんじゃう？」の相談をしてすでに楽しんでいました。

そんなかたくり組の様子を見ると、子どもたちって自分で決めた事にしっかり向き合って、考えて実行できることを思い知らされました。おとなたちはそこに少しの助言と見守りがあればいいんですよね。

当日は案の定ひどく冷たい雨でしたが、出かけた子どもたちは満足きって帰ってきました。公園にたどりついてまずしたことは手造りのお弁当を食べること。園で遊んだ子たちもお弁当を食べる時の話は「公園チームもお弁当食べてるのかな」等思いをよせていたそうです。

やまぶき組は、普段の遊びから「こねる」を楽しむという話がでて、うどん作りをしてみようと計画しているようです。はこべ組は、卒園の前にバスを借りて江の島辺りに遠足に行きます。

一人ひとりにとって、日常の園での暮らしは、何をしても何もしなくても、安心して居られる場であってほしいと願っています。

たまにある特別な日、運動会やおまつりや遠足などは、いつもとちょっと違うことができ、楽しい時間を過ごせる幸せな日々であるように。

「ののはな」が、子どもたち、保護者の皆さん、保育者が寄り集まって共に過ごせる場所でありたいと思います。

野崎亮子



3月初旬に進級に向けて
書類を配布します。
必要な所を記入して
3月中に提出を
お願いします。



今年度も残すところあと少しとなりました。1年をふり返ってみると、4月の入園や進級からあっという間に時が過ぎ、こどもたちが給食を元気いっぱい食べている姿を見ると成長の早さを改めて感じます。これからも、気持ちも体もホッと温かくなるような、おいしい給食をこどもたちと一緒に楽しめたら嬉しいです。

3月3日 桃の節句

3月3日は、ひなまつりです。ひなまつりは「桃の節句」と呼ばれ、ひな人形を飾り、女の子の健やかな成長と幸せを願います。行事食として、ちらし寿司、はまぐりのお吸い物、雛あられ、桜餅などがあります。雛あられの色は四季を表し、「1年中幸せに過ごせるように」という願いが込められています。



- 健康の祝い
- 清浄の表し
- もえる若草

保育園でもひなまつりにちなんだひなまつり寿司とひなまつりケーキを提供します♪



ののほなレシピ 納豆チャーハン2人前



【材料】

- ・ひきわり納豆... 2パック
- ・小ネギ... 1把
- ・ベーコン... 80g
- ・醤油... 大2
- ・塩... 小1
- ・ご飯... お茶碗2杯分

- ①ベーコンとネギをフライパンで炒めて、醤油と塩で味付けする。
 - ②ご飯に、混ぜた納豆と①の具材を混ぜ合わせたら 完成です。
- お好みで、豚肉やキノコを入れたりなどのアレンジもおすすすめです♪

旬の食材 【菜の花】

春の訪れを告げる野菜の菜の花。緑黄色野菜の一種で、栄養価の高い野菜です。

ビタミン、ミネラル、食物繊維が豊富に含まれており、中でもビタミンCは野菜の中でもトップクラスです。ビタミンCは風邪予防、美肌効果などの効果が期待できます。



保健



もしかして



花粉症



と思ったら



【家でできる対策】

- ・マスクをする
- ・服はナイロン製などの生地がツルンツルンしたものを選ぶ
- ・目や鼻の周りにワセリンを塗る
 - ゴーグルや花粉症メガネの使用は転んで目の周りを傷つける危険もあるので、臨機応変に対応できる年齢になってから使用するのが良い。
- ・家に入る前に服をパタパタして花粉をはたき落とす。（帽子を使用するのも有効）
- ・手洗い、うがい、鼻うがいをする
- ・バランスのいい食事をする
- ・洗濯は外干しを控える

花粉症はとても辛いです。子どもは不快を感じていてもうまく言葉で伝えられないことが多いです。辛さを軽減できるよう、周りの大人が配慮していきたいですね。

参考：外出が多い子どもが気をつけたいこと 有明こどもクリニック 村上典子

のいちご



「あんぱんまん かく～」

いつも公園に着くとブランコに行くYちゃんが、
今日はキョロキョロしている。目線が止まり、
目線の先にはKさんがいる。
YちゃんはKさんのところへ行き
「アンパンマン かく」と遊びに誘っている。
Kさんが○を描くとその中にYちゃんは描く。
描き終ると、少し横にずれて今度は何もない地面に描きだす。
左から右に横線を描き、そして下に同じように線を描く。
「アンパンマン！」と本人は満足そうな表情をする。

以前、公園で地面に大人と一緒に描いたアンパンマンや
イラストが記憶に残っていて今日もやっている。
体験した事が経験に繋がっている。部屋でクレヨンで○を描くより、
砂だと描きづらいのかYちゃんなりに考えて
アンパンマンを描くそんな姿を見て成長を感じる。
出来る、出来ないではなくてこどもの今やりたい気持ちに応えていきたい。

わかくさ



「雪と絵の具」

雪遊びから、Rくん、Yくん、Yちゃん、Sちゃんが
部屋に戻ってきた。すると、室内に置いてある雪(深めの入れ物に
入れてある)に興味を持って触る、Rくん。

RちゃんとHちゃんが作った、色が染まっている雪を見て
「RもRも！！ゆき！ゆき！！もっと！」と雪を求める。
雪をパレットに入れると、私の持っている綿棒に目を向ける。
YちゃんやRちゃんも、綿棒で雪と絵の具を混ぜ合わせて、
混ざった雪に綿棒をさしている。

Rくん「シャリシャリ…まーぜまぜ！！おいしく…」と、
音を言葉にして、絵の具と雪を混ぜている。
私「R、いい？」と聞くと「だめ！！まだまだだから」と言う。
雪が解けていくと、「よし…！！」と満足そうな表情になる。
それから、綿棒に混ざった絵の具をつけて、紙に描いていく。

Rくんが雪と絵の具を混ぜる時、「シャリシャリ」という音を
言葉にしていた。雪との組み合わせが無ければ、聞けなかった音。
かき氷やアイスなどの食べ物に連想して「おいしく…」という言葉
を言ったのかもしれない。これが雪ではなく他の素材だったら、
どんな楽しみ方をしただろうか。
これからも多様な素材を用意していきたいな。



2歳のお誕生日おめでとう！

なでしこ

「Zくんの世界に入ったAちゃん」

砂場のフチに土をのせ、道路を作っていたZくん。
Aちゃんが興味を示し近づくと、「ここはくるまのどこ」
「ながくするんだ」とZくんが説明する。

A「ここあいてる」
道路(土)が削れていることに気が付くAちゃん。
Z「ほんとだ!」
Zくんも気が付き、2人で直す。
道路を作りながらくるまを走らせる2人。どんどん作り進め、
長くなってきた。
A「こうじちゅうだよ!」
赤いペットボトルのキャップを置いて表現する。

最初はZくんだけで遊んでいた空間に入っていったAちゃん。
道を作るだけでなく、Aちゃんがキャップを置いた時が、Z
くんの世界に入った瞬間だなと思った。

この時期の子どもは、少し前までは、直接的な関わりは少ないけれども、
同じ場所と空間で遊ぶ姿が多かった。

この場面は、そこから段々と、言葉や動きで自分たちのイメージをやり
とりしてごっこ遊びを楽しむようになってきたエピソードです。

3歳のお誕生日おめでとう!



やまぶき

やまぶきのみんなどやりたいな

T「やまぶきのみんなどやりたいな。」
青空公園で私と2人でやっていた変わり鬼。
その途中で急に足を止め、Tくんが言った。

S「そうだね! 誰誘おうか?」
T「うーんと、EちゃんとMちゃん! それだけでいいや!」

Eちゃんのところまで歩きに行く。
Tくんが誘うかな? ...でも、私の一步後ろを歩くTくん。
恥ずかしいかな?
S「Tくん誘えば? (小声)」
T「Sちゃんがいうの!」ニヤツと笑いながら、私を押す。

S「Eちゃん、一緒に変わり鬼やろう?」
E「... (考える) え〜っと。いま、Tちゃんのおかあさんたちと
やってるからあ。」
T「じゃあ、つぎだ!」

断られてガッカリするかなあと思っていたけれど、スッと切り替える
Tくん。Mちゃんは「あとでやる!」とのこと。
その後、Aちゃんたちのところへ行き、Tちゃん母たちと一緒に
鬼ごっこをすることになった。

一つ上の姉Sちゃんたちと遊んだり、大人と一緒に遊ぶことが
多かったTくん。やまぶきの子と過ごす時間の中で徐々にそこに
居心地の良さや気の合う存在を見つけたことが「やまぶきのみんなど」と
いう言葉に繋がったのだろうな。
子どもたちって自分が満足したり納得したりする中で次に進めるんだな
とつくづく感じた。

4歳のお誕生日おめでとう!

かたくり



Aちゃんとゴール

みその東公園に着くなり「サッカーしよう！」とAちゃん。
A「Hくんとサッカーしようって言ってたんだよね。
あじゃあまず、ごーるかかないと」
そう言って、靴のかかとで地面に線を描き、小さいゴール
(子どもが横に3人並んでいっぱいくらいの)ができた。
「なにしてんのお～」と遠くからKくん・Sちゃんも
やってきて、R・Sも来て、サッカーが始まった。
やってみたら、なかなかゴールに入らない。「うーん。。」と眉毛を
しかめるAちゃん。A「も～～っとおっきくしないと」
さっきゴールを描いた時よりも、力強い気持ちが、濃く長く
伸びていく線に現れている気した。
みその東公園の広いグラウンドの半分くらいがゴールになって、
サッカー再開▶キーパーをやっていたわたし泣かせだったけど(笑)
こんな大きなゴールでやるサッカーは
自分自身も今まで経験したことなくて、わくわくさせてもらったなあ。
最初は3人しかいなくて、このくらいのゴールでいっかになって思って
描いていたのかもしれない。
でも、人数も増えだし、やってみたらぜんぜん入んないじゃん！っていう経験。
それが、ならもっと大きくしちゃえっていう発想に繋がったのかな。
Aちゃんがサッカーを始めるときから「ゴールかこう！」
「ゴールがないとね！」って言っていたのが印象的だった。
今までやった中で、ゴールがあった方が面白かったっていう経験が
その背景にはあったのかな。今日のサッカーがまたちがう日
どんな風が変わっていくかたのしみだなあ。



5歳のお誕生日おめでとう！

「あさってまでやろうな！」

卒園式に向けて、紙粘土を使い自分たちで好きな色、好きな飾りをつけてみよう！と誘ってみると「やりたい！」と集まって来た子どもたち。
白い粘土に、赤、ピンク、黄色、青、水色、黄緑、緑、7色の絵の具から選んで
指で乗せていく。「ちきゅういろ！」「おひさまみたい」どんどん色が
変わっていく。10人位の子が飾りつけまで、終わっていった中で
D「あさってまでやろうな！」
隣のRくん達に話しかける。
自分の手のなかで色が変わっていくこと。お団子づくりのようにまん丸やら
ぺったんこやら形が変化していくことを堪能しているようだった。
青紫のような色になっていた時に、少し爪が当たってめくれた所が白い！
D「なんで？」「あ～またやなおしかあ」
白い所が気になって、やり直す。
そう言いながら粘土と色を混ぜ合わせて、こねる手は止まらない。
今度は、後から来たAくんにも
D「あさってまでやろうな！」
「あしたまでやろうな」ではなく、「あさってまでやろうな」なんて
気持ちのこもった言葉なんだろう。明日もその先もやり続けたい
ありったけを詰め込んだように聞こえた。



はこべ



6歳のお誕生日おめでとう！



職員の声



えのき、エリンギ、しめじ、しいたけ、ひらたけ、まいたけ、なめこ などなど...
きのこが大好きです♡ 冬は、金鍋にきのこをいっぱい入れて食べることにハマっていました♪

4月からは新潟で、父と一緒に柿も作ります。父に学びながら、農業という新しい分野にチャレンジします。

私は、徳島の出身です。と
言くと、四国だけは行ったことかな。とよく言われます。徳島にもおもしろいところいっぱいあるから一度行ってみて下さい。
大塚国際美術館、鳴門の渦潮、人形浄瑠璃、祖谷のかずら橋 などなど。そして、世界に誇る「阿波踊り」。この時期は、スーパーの中でも阿波踊りの曲がかかれます。
「ゴビゼロの町」とかもあります。
書き切れませんがぜひ！

上京してきて早4年！これから引越しをするべく、お部屋探し中です！ いろんな物件に悩み頭を抱える日々…。ここもいいな、ここもいいな…。じが揺れまくります。これから新しい職業にチャレンジするので、楽しみとドキドキでいっぱい。
頑張るぞー!!!



ずっと欲しかった
MATE BIKE の自転車を
買いました!!

これから、いろんな所へ
出かけたいと思います!!

4月からの初一人暮らしに絶対ワクワク中な私です！ 素敵なマイハウスにするために、好きなイラストレーターさんに描いてもらったポスターを飾ろうかな～なんて、あれやこれやと想像を膨らませながら家もバッチリ準備しています♪
上町に行ったら、大好きなごはんや甘いもの巡りが捗りそう～！ 都内でおすすめのお店があれば教えてください!!



自由参加です！



ののわっか

～園,縁,円,宴～



～ お願い ～

- *参加の方は車でのお迎えをお控えください。
- *食べ物、飲み物の持ち込みもできます。
- *アレルギー除去対応が必要なお子さんには、アレルギー食材が記載されたシールがお子さんの左肩に貼ってあります。ご協力お願いいたします。

